

平成28年 12月21日 NO.51

〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
 TEL029-269-2116  
 FAX029-269-3160  
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

# 正しさとは何か



12月18日(日)に、水戸市の全中学校の生徒会役員等が参加して「第5回中学生交流会」が開催された。本年度は、本校の田村生徒会長を中心として、本校生徒会が「正しさって何だろう?」という話台いのテーマを決定した。

話台いに先立ち、開会式が行われた。その式で田村会長が、参加した各校の生徒たちに、本年度のテーマについて、自らの思いを語りつつスピーチをした。そのスピーチは、常中スタイルで行われた。「ノー原稿は当たり前前。原稿を全て事前に暗記してその通りに話すのではなく、話すべき内容を、聴衆に応じて、自らの言葉で臨機応変に語る」というスタイルだ。

右の写真のように、田村さんは、聴衆の目を自分から、言葉と身振りで語りかけていた。聴衆から「オー」といううぶめきが起こる見事なスピーチだった。



自分の時間を使って人のために尽くす正しい行い  
 【駐輪場がきれいになっている。ボランティアの皆さんの正しい行いのおかげです。ありがとう。】

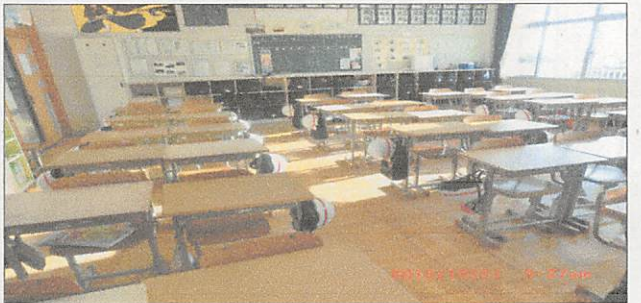
「正しさとは、おそらく人それぞれ違った解釈がある。だからこそ、属する集団で、この集団では何が正しいとするかを、きちっと話し合っていくことが大切だ。」

「人それぞれと言っても、『正しいこと』というのはあるように思う。集団にとって『正しいこと』を、きちっと守らないと、集団は荒れてしまつて規律が無くなつてしまう。」

などの意見を本校の生徒たちが発言していた。それぞれ素晴らしい意見で頼もしく感じられた。

さて生徒の皆さんに、改めて問いたい。常中魂の神髄の一つ「常に正しかれ」の中にもある「正しさ」とは、いったい何だろうか。

## 正しい行い



無人の教室の椅子・机がきちっとそろっているという正しい行い  
 (整った教室はきもちいい。無人の教室が整っている学級はいじめが少ない。これは間違いない。正しさとは、何なのだろうか。)



